

## Report

タイトル：高校訪問（安芸府中高校）

講師：高橋校長

内容：安芸府中高校の代表者の方からの自己紹介から始まり、その後、生徒4人、研修生2人のグループに分かれて、自己紹介を始めました。研修生も高校生が理解できるように英語を話し、和やかに自身のニックネーム等を紹介していました。その後、生徒により核爆弾の後遺症（原爆の子の像）に関する紙芝居が行われ、研修生も真剣に聞き入り、「平和とは何か」に関して積極的に議論を交わしました。

安芸府中高校が行っている独自の改革、教育についても説明があり、研修生も大変興味深く聞いていました。



タイトル：配膳見学，給食体験

講師：

内容：広島県立安芸府中高等学校での午前中のプログラムの後，広島県立安芸府中小学校に移動しました。研修生たちは，小学生が給食を配膳の様子を見学したあと，実際に給食をいただきました。10月6日の献立は，牛乳，黒糖パン，白いんげん豆のトマト煮，フルーツ白玉でした。家庭の負担する費用や，すべての学校で給食が提供されているのかなど，たくさんの質問がありました。食後は小学生の皆さんと同じように分別して食器などを片付けました。さらに，校長先生に在籍生徒数やクラス数，一クラス当たりの生徒数などについて質問させていただきました。写真撮影や配膳の際には小学生の皆さんともコミュニケーションをとり，笑顔でお昼の時間を過ごしました。



タイトル：袋町小学校資料館

講師：

内容：原爆投下時に、甚大な被害を受け、その当時の建物を残す袋町小学校資料館に滞在しました。家族を探す被爆者が残した手書きの文字などを見学し、涙を流す研修生も見られました。コーディネーターの飯田さんがアテンドしている際にも多数の質問が飛び交い、広島が持つ悲劇的な歴史を積極的に学習していました。

